

戦時食コーナー

すいとん 当時の団子（ぬか2：小麦粉8）とおいしいすいとんで作った団子入り味噌汁  
 芋づる煮 元職員さんの作られている畑から芋づるをいただきました



“すいとん”ってなあに？  
 すいとんは団子汁ともいいます。今から約80年前、日本はアメリカと戦争をしていました。男の人は兵隊さんになって戦い、お米を作ったり牛や豚を育てたり、お魚をとったりする人がとても少なくなり食べ物足りなくなりました。ご飯やおかずはぜいたくで、わずかに手に入る小麦粉を練って汁の中に入れて煮たものを食べて何とか生きてきました。少しでもお腹の足しになるよう、小麦粉に粟を混ぜて量を増やし、おいしくなくても生きるために食べていました。



舞台 午後の部



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館  
 「広島被爆体験伝承講話」  
 小西ヒサ子さん



たくさん子どもたちが被災し、小学校の教室の机の上に置かれました。薬の代わりに油を塗りました。運動場に穴を掘ってその中で亡くなった人たちが焼かれました

戦争の語り部さん  
 枚方の廣田美那子さん  
 「満州から引き揚げて」  
 野坂昭如さんの戦争童話集「年老いた雌狼と女の子の話」を朗読されました。満州から引き揚げてきたとき、食べるものがなく、芋づるを食べました

「Imagine イマジン」  
 さあ想像してごらん、みんながただ 平和に生きているって...  
 ジョン・レノンのイマジンから とっています

工作コーナー



広島市立基町高等学校の生徒さんが描いた「原爆の絵」のレプリカ



署名活動



90筆 集まりました



平和の想いが集まりました

手形付箋



「戦争も核兵器もない平和な世界へ」「青い空と平和な未来を子どもたちに手渡したい」との想いをみんなで感じ、学び、考え合う場になり、力を合わせる事の必要さをしっかりと確認する事ができました。また去年は日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞という嬉しいニュースもありました。ヒロシマ、ナガサキの原爆が投下されて、今年で80年を迎えます。「核兵器のない世界」へと決意を新たに、運動を飛躍させましょう。  
 ♡「平和を守る募金」9156円を皆さまにご協力いただきました。ありがとうございます♡